

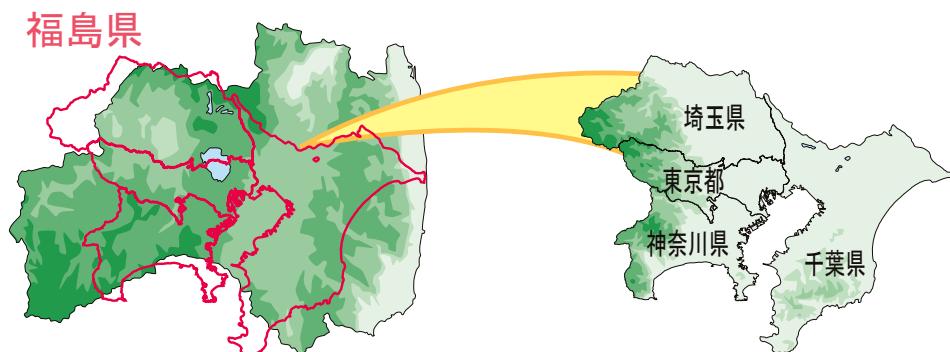
福島県の取組み

福島県の概要

豊かで多様な自然

●首都圏1都3県分が、まるごと入る

- 県土面積………13,782.75km²…全国3位
(一目でわかる福島県の指標 2007・福島県)
- 可住地面積………4,218.29km²…全国3位
(一目でわかる福島県の指標 2007・福島県)



地理的条件

●首都圏と隣接する東北の玄関口

- 東北地方の最南端：東京から 200km 圏域

人口・産業構造

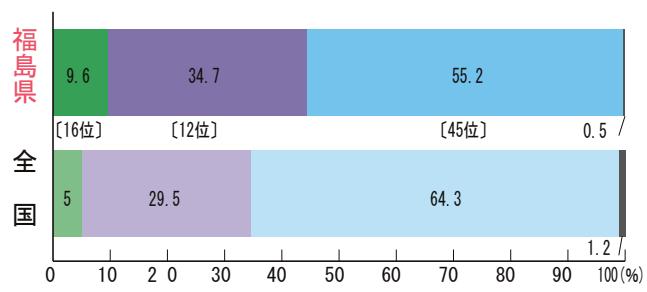
●平成 9 年の 2,137,406 人が過去最高

- 人 口 2,091,319 人 (全国 18 位)
(平成 17 年 10 月 1 日)
- 世 帯 数 709,644 世帯 (全国 21 位)
(平成 17 年 10 月 1 日)
- 人口密度 151.7 人／km² (全国 39 位)
(平成 17 年 10 月 1 日)
(一目でわかる福島県の指標 2007・福島県)

●表情豊かな 3 つのエリア

- 東から太平洋、浜通り地方、阿武隈高地、中通り地方、奥羽山脈、会津地方

●2 次産業就業者比率が全国 11 位



● 県土の12%が自然公園

- 国立、国定公園：日光国立公園、尾瀬国立公園、磐梯朝日国立公園、越後三山只見国定公園の4ヶ所

- 県立自然公園：11ヶ所 (平成19年版県勢要覧)

主な山岳		
	山岳	標高
1	燧ヶ岳	2,356m
2	駒ヶ岳	2,133m
3	飯豊山	2,105m

(平成19年版県勢要覧)

主な河川		
	河川	延長
1	阿武隈川	181km
2	只見川	145km
3	阿賀川	145km

(平成19年版県勢要覧)

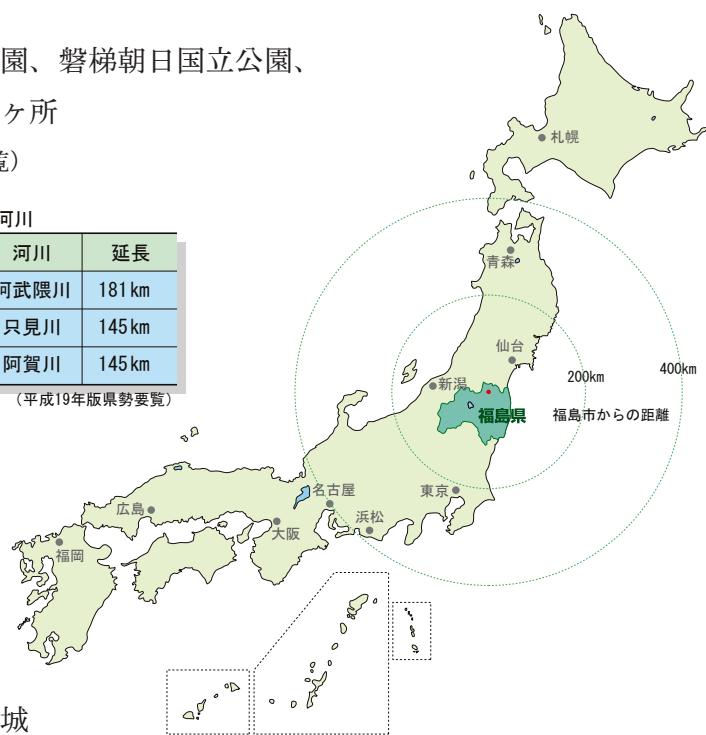
主な湖沼		
	湖沼	面積
1	猪苗代湖	103.32 km ²
2	檜原湖	10.72 km ²
3	秋元湖	3.64 km ²

(平成19年版県勢要覧)

● 6県に隣接

- 隣接県：茨城・栃木・群馬・新潟・山形・宮城

- 約160kmに及ぶ太平洋の海岸線



● 全国有数の果物・野菜王国福島

- モモ (全国2位) ○ナシ (全国4位) ○リンゴ (全国5位) ○水稻 (全国4位)

- サヤインゲン (全国2位) ○キュウリ (全国4位) (平成19年版県勢要覧)

● 製造品出荷額等

- 5,220,418百万円 (全国19位) (平成15年)

- (一目でわかる福島県の指標2007・福島県)

● 観光客伸び率トップクラス

- 年間観光客 5,623万人 (平成19年版県勢要覧)

- 温泉地数 (宿泊施設のある場所) 138箇所 (全国5位) (平成18年3月31日)

- (一目でわかる福島県の指標2007・福島県)

● その他・全国から見た福島県

項目	単位	全国	福島県	順位	年次
年少人口比率	% (15歳未満÷総人口)	13.7	14.7	4	平成17年10月1日
生産年齢人口比率	% (15歳~64歳÷総人口)	65.8	62.5	29	平成17年10月1日
老人人口比率	% (65歳以上÷総人口)	20.1	22.7	20	平成17年10月1日
一世帯当たり人員	人	2.55	2.91	7	平成17年10月1日
平均寿命(男)	歳	77.71	77.18	37	平成12年
平均寿命(女)	歳	84.62	84.21	43	平成12年
一人当たり県民所得	千円	2,978	2,712	21	平成16年
県内総生産(名目)	億円	5,084,111	78,551	18	平成16年
農業産出額	億円	88,058	2,500	13	平成17年
製造品出荷額等	億円	2,844,721	54,853	19	平成16年
年間商品販売額	億円	5,387,758	47,206	21	平成16年6月1日

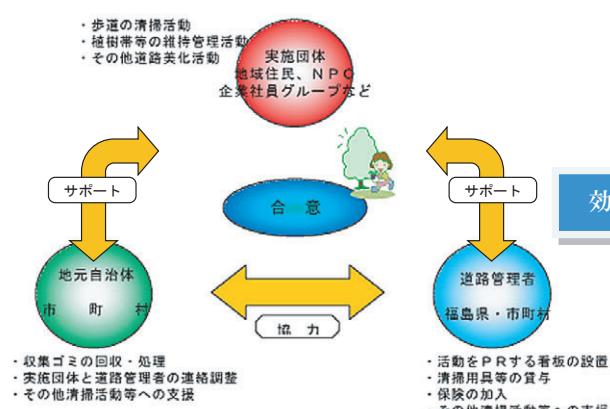
(一目でわかる福島県の指標2007・福島県)

地域住民、NPO 法人等との協同事業

うつくしまの道・サポート制度

福島県では、地域の方々が「みち」を慈しみ、きれいにしたいという気持ちから行われる道路美化作業等のボランティア活動を支援する取り組みを、平成12年度から行っています。平成15年度からは事業名を「うつくしまの道・サポート制度」に改め、地域の方々と市町村、県の三者が協働して、道路の清掃及び美化活動に取り組んでいます。背景には、ボランティア活動の活性化や行政への参加意欲の高まりなどがあり、平成20年8月28日現在、県内各地域で145団体が当事業に合意し、地域が主体となって道路への愛着心を育みながら、地域にふさわしい道づくりを進めているところです。

うつくしまの道・サポート制度の仕組みは、地



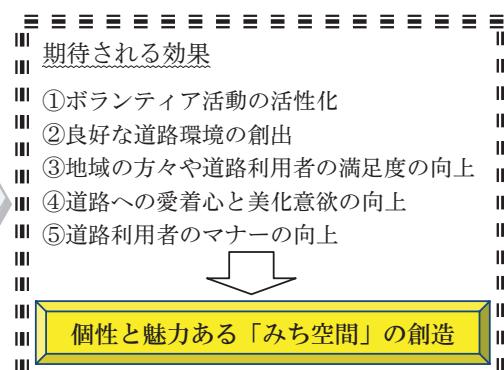
道路愛護活動の啓発

当県では、町内会等の団体などにより福島県道路愛護会を組織し、県の交付金で活動費用の助成を行っています。前述のとおり県内には多数の道路愛護団体が組織されており、各団体の活動費用の一部を助成することにより、地域の道



域住民、NPO 法人等の実施団体が地元自治体（市町村）及び道路管理者（県・市町村）と合意書を交わして、道路の清掃活動や美化活動を行います。道路管理者と地元自治体は、清掃用具の貸与、傷害保険への加入、収集ゴミの回収などにより実施団体の活動を支援しています。

現在、当県においては、2,000を越える道路愛護団体（道路愛護活動を行うものとして、市町村に申し出している団体数）が積極的に道路愛護活動を行っています。今後も、既存道路愛護団体等とサポート制度の合意締結を進めることにより、個性と魅力ある「みち空間」の創造を広めるような取り組みをしていきたいと考えています。



路の望ましい維持管理に貢献しています。また、道路美化作業等の活動が特に顕著と認められる道路愛護団体等に対し表彰を行うことにより、当該活動を奨励しようとする取り組みも行っています。



かし 国道 289 号「甲子道路」全線開通

国道 289 号は、新潟県新潟市を起点とし、福島県いわき市に至る幹線道路であり、県内においては、「南会津～白河～いわき」をつなぐ県南部の大動脈です。しかし、日本海と太平洋の分水嶺となっている奥羽山脈の急峻な地形を横断しているため、下郷町と西郷村の間は、険しい甲子峠に阻まれ自動車通行が不能となっていました。



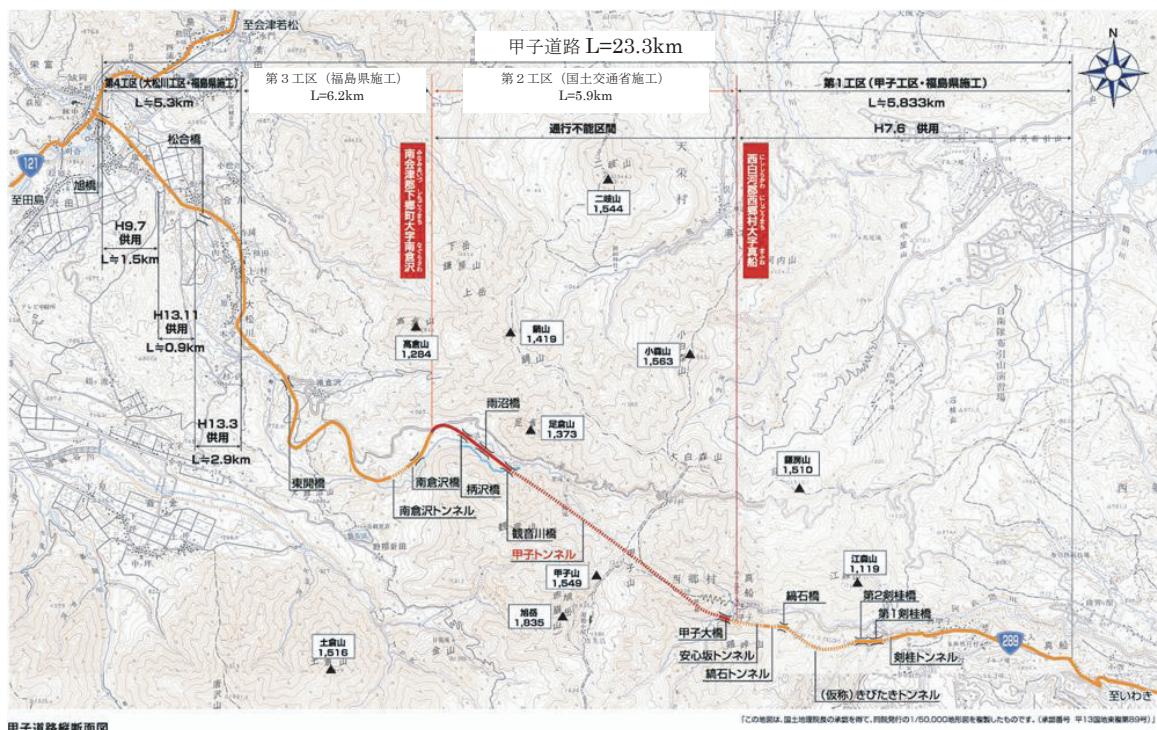
このため、県では交通不能区間の解消を目的に、昭和五十年度、甲子道路の整備に着手しました。標高 1,549m の甲子山を貫通する「甲子トンネル」や阿武隈川源流近くの「甲子大橋」などについては、

地形が険しく高度な技術が必要なことから、国土交通省とも連携し、地元の方々にも協力や応援をいただきながら鋭意整備を進め、9月 21 日（日）開通することが出来ました。



今後は、年間を通して安全・安心な通行が可能となり両地域の交流・連携が促進され、活力や魅力ある地域としてさらに飛躍していくことが期待されます。

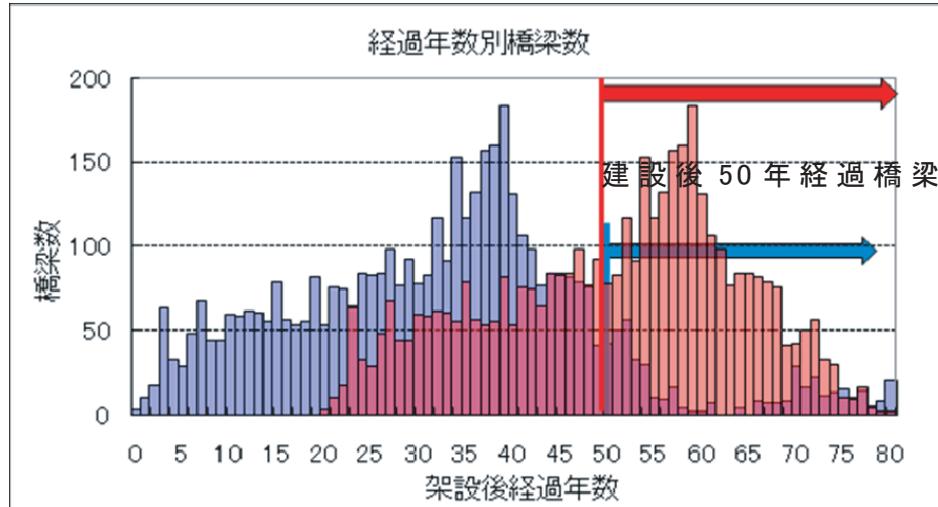
さらには、日本海から太平洋、また関東地方から県南・会津を経由し北陸地方までの広域ネットワークが形成されたことにより、広域的な交流、物流がより一層、促進されることが期待されます。



橋りょう長寿命化修繕計画

福島県が管理する橋りょうは、現在約4,500橋あり、このうち建設後50年を経過するものは約500橋で全体の概ね1割を占める。これが20年

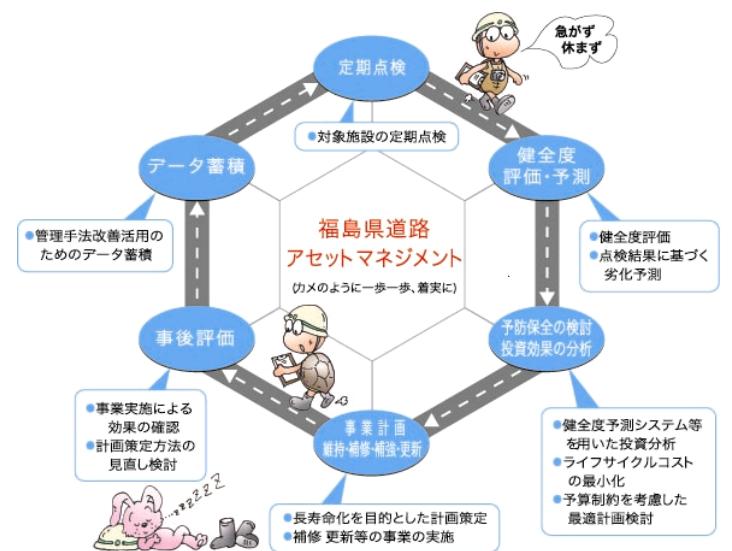
後には6割近くに達する見通しであり、その多くで架替えが必要になる見通しである。



今後は、増大が見込まれる橋りょうの架替えや修繕に対し、可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。そこで、国土交通省の長寿命化修繕計画策定に対する補助制度も活用しながら、本県の長寿命化修繕計画を策定し、修繕や更新費用の平準化を図りながら、劣化損傷を早期に発見して修繕や更新を計画的に行うこととしている。

策定の実務においては、福島県道路アセットマネジメントで定めた点検マニュアルや劣化予測手法に基づくこととしており、橋長15m以上の約1,600橋については平成21年度まで、それ以外の約2,900橋については平成23年度までに策定する予定である。

計画策定後も直営を基本とする定期点検を確実に行い、データ及び修繕計画を更新するとともに修繕・架替え工事を実施し、安全で安心な道路交通を確保するため、できる限り少ない費用で県民の財産である橋りょうを長く使うことにしている。



橋梁点検講習会の状況